

# 東能勢中学校だより

～一人ひとりを大切にした 一人ひとりが輝ける学校～

令和3年(2021年) 1月号

## 新年あけましておめでとうございます。



旧年中はいろいろ制約される中、本校の教育活動に温かいご協力、ご理解をいただきありがとうございました。おかげさまで、主な行事もほぼ大きく変更することなく、無事に取り組んでいます。

生徒たちも我慢と平静を保ちながらよく頑張ってくれています。

今年こそこの世界的な苦境を乗り越え、希望を持って新しい年の日常生活を送ることができますように。



昨年、思いがけなく世界を襲ってきた新型コロナウイルスが、私たちのあたりまえの日常を一変させました。その状況とともに年を越し、まだまだ厳しい状況が続いています。逼迫した医療現場で命を守るために従事して下さっている方々に感謝しつつ、私たち一人ひとりも油断せず自らを守っていかなくてはならないと強く感じます。Withコロナ、Afterコロナの新しい生活様式への展開を余儀なくされる中でも、人としてあたりまえに大切にしたいことは失いたくないと思います。物理的なディスタンスをとりながらも気持ちに寄り添うという心のディスタンスは保ちながら。

学校での教育活動もあたりまえであったことがスムーズにできにくくなっていますが、生徒たちに学んでほしいこと、伸ばしたい力をきちんと見極めて、今できることを手も気も抜かずに工夫してやっていきたいと思えます。

保護者の皆さま、地域の皆さまには不便をおかけしたり、ご理解とご協力を願ったりすることもあろうかと思えますが、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 《12月の主な様子》

### 〇8(火) 避難訓練

今年度2回目の訓練のテーマは火災です。災害は予告なしにやってくるので、日頃からいざというときの身の守り方や、避難経路、避難場所を確認しておく必要があります。小学校から学習している「お(押さない)は(走らない)し(しゃべらない)も(戻らない)」のキーワードを忘れず、素早く集まることができました。



### 〇11(金) 2年生 SDGs学習 学年レクリエーション

本来なら神戸市にあるJICA関西と自然の家を訪れ、元海外協力隊員から直に話を聞いてSDGsについて学習し、午後はフィールドアスレチックのはずでした。しかし、新型コロナウイルス感染症の状況が悪化して大阪モデルで赤信号。残念ながら自粛期間中の校外学習は見送ることになってしまいました。なんとかして少しでも近い体験をと学年団で考え、JICAの青年海外協力隊員として海外へ派遣経験のある教頭から、国際ボランティアである協力隊員としての役割や開発途上国での生活など貴重なお話を聞きました。そして午後は学年レクリエーション。三密、換気、消毒には気を遣いながらも学年の親睦を深めました。



### 〇14(月)ふたば園交流・16(水)サポーターさんと植栽

1年生の技術科で取り組んだパンジーの苗づくり。種から育てたものが花を結ぶまで大きくなりました。その一部をふたば園の園児さんにプレゼントしました。日頃背伸びをしたい中学生も園児の前では腰をかがめて顔をゆるめながら贈呈。「大事に育ててね。」と各自の牛乳パックで作ったポット入れに入れてあげていました。16日には地域のサポーターさんが来られ、早春に向けての苗の植え付けをしてくださいました。有志の生徒たちも参加。校庭に花が彩を添えてくれるのが楽しみです。



左：サポーターさんと 右：4歳児パンダ組さんと

### 〇16(水)～18(金)東能勢フェスタ 展示の部

今年は保護者の皆さんが分散してご覧いただけるように期末懇談期間中に開催しました。休校措置や活動制限があった中でしたが、各教科で取り組んだ生徒たちの作品をご覧いただきました。演技やパフォーマンス活動とはまた違った生徒たちの発想の豊かさ表現の面白さに気づかされました。

73人の芸術家  
～見つけ出そう輝く才能～

東能勢フェスタ  
生徒会テーマ





# 大教大との共同研究～第2回研究授業・協議

以前よりお伝えしていますように、本校は大阪教育大学と共同研究を行っています。14日から10日間設定した相互授業参観にあわせて、22日には校内研究授業と研究協議会を行いました。「どの子ども輝く場をもてる学校づくり～生徒の課題を見据えた生徒が主役になる授業づくり～」というテーマで進めてきた研究の進捗状況を検証するための取り組みです。山野教諭（社会科）、古谷教諭（理科）の公開授業の後、町内外から来校した参加者と一緒に研究協議を行いました。研究支援してくださっている大阪教育大学の和田先生や佐久間先生から講話や助言をいただきました。

みんなの作品  
73人の展覧会



## 学習定着率（ラーニング ピラミッド）のお話

大教大 佐久間先生の講話から

学習方法と定着率を表したものです。

講義 5%、読書 10%、視聴覚 20%、実演を見る 30%、グループ討論 50%、体験 75%、他者に教える 90%

人の話を聞くだけの受け身の学習方法では定着率は低く、自ら能動的、主体的に関わっていく方法の方がはるかに定着しやすいということです。



## 卒業生の活躍

本校出身で現在履正社高校3年生の船田陸人さんが全国高校サッカー選手権大会に大阪府代表として出場しました。2日に行われた初戦の2回戦で帝京長岡高校（新潟）と対戦し、前半で先制点を取るも、後半に2点を入れられてしまいました。残念でしたが、ベスト4の強豪校相手によく健闘しました。横断幕は所属していたサッカーチームヴィエントさんが作っていただきました。



## 《1月の主な予定》

- 6日（水）3学期始業式 \*給食 7日より
- 13日（水）1, 2年府チャレンジテスト 3年実力テスト
- 19日（火）\*PTA運営委員会
- 20日（水）1年生キャリア学習 ハローワークの出前授業
- 22日（金）～26日（火）3年学年末テスト
- 26日（火）私立高校出願（3年志願者の一部 午後）
- 26日（火）生徒会による小6対象学校説明会
- 28日（木）1年職場訪問（午後）
- 29日（金）\*PTA役員選出会

今年は郵送出願の学校もあります。進路通信 POLARIS をご確認ください。

